なんさい

NO. 272
1月号
2019 JANUARY

特集 **創造的自己改革への挑戦**

JA南彩 | 検索

URL:http://www.ja-nansai.or.jp

ホームページで広報誌「なんさい」が見られるようになりました。

地域を結ぶ
ふれあい
ネットワーク
JA南彩

耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ

代表監事
神田　明

代表理事副組合長
荒井豊治

代表理事組合長
中野榮一

会長理事
若林龍司

食と農で元気な地域社会の創造をめざして

代表理事組合長　中野榮一

謹んで、新春のお祝詞を申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝ける新年の良き門出をお迎えのこととお慶び申し上げます。

常日頃、当ＪＡ事業に多大なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済は、６年に及ぶアベノミクスの推進により企業部門の改善が家計部門に広がり、経済の好循環が進展する中で緩やかに回復しています。その一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響を注視する必要があります。

そして、昨年も多くの気象災害が全国で発生し、管内農業にも大きな被害と影響を及ぼしました。６月下旬の観測史上最も早い梅雨明け、６月の日照時間と７月の平均気温28・2℃の記録更新など、気温が高く日照も多かったことから水稲の生育は促進され出穂期も早まりました。出穂期を迎えた「コシヒカリ」「彩のかがやき」では、８月も平均気温27℃を超える日が22日を数え、高温での登熟による白未熟粒の発生が玄米等級の低下をもたらしました。梨につきましても、高温による葉やけや肉質の低下、果実の表面が黒変する症状が起こり、また台風21号、台風24号の影響により晩成品種で落果が見られ、防災網など農業施設に多大な被害が発生しました。

農業情勢では、昨年の12月末に「ＴＰＰ11」（米国を除く環太平洋経済連携協定）参加11カ国の協定が発効され、日ＥＵ経済連携協定（ＥＰＡ）も承認され２月１日に発効する見通しとなりました。さらに米国との間で物品貿易協定（ＴＡＧ）交渉に入ることに合意するなど、日本農業は今や史上最大の市場開放に直面しており、農家不安の払拭に向けた十分な対策と取組みが急務であります。

また、中期３か年計画は残り３か月となり、「創造的自己改革への挑戦」をメインテーマとし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の３つの基本姿勢のもと、組合員の評価を聴く取組みを継続・強化してまいります。

ＪＡ南彩の経営につきましても、より一層経営の健全性・透明性をはかるとともに、自己責任に基づく適切な経営管理に努めてまいりますので、組合員の皆様をはじめ地域利用者の皆様にもご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、組合員の皆様とご家族、地域利用者の皆様方のご健勝とご多幸、そして本年が最良の年となりますよう、心からご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

常勤役員

常務理事　井上　薫
常務理事　菊池義雄
常務理事　木村光之
常勤監事　小林　守

非常勤役員

（理　事）

金子　操
杉崎兼資
高橋　博
森田　忠
関根潔
関根正一
内田清美
石塚郁志
石山庄司
高崎光英
小川利雄
原田順一
吉岡政広
石井正孝
折原史年

（監　事）

中村武夫
小暮惠治
金井稔
成田行郎
渡邉仁
岩崎長一

（員外監事）

矢作俊信

外職員一同

榎本　孝
大久保要夫
冨田高治
戸田　俊
折原貞夫
土屋久雄
冨澤康男
鈴木守男
新井明
尾野孝博
岸　勉
関根さと子
矢部啓子
峯岸豊子

本年もよろしく
お願い致します

ＪＡ南彩

もくじ CONTENTS

新年のごあいさつ ❷
表紙の紹介 ❸
カメラニュース ❹❺
特集 ❻❼❽❾
『創造的自己改革への挑戦』
みんなの広場 ❿⓫
カメラニュース ⓬⓭
生活情報 ⓮⓯
お知らせ ⓰⓱⓲

表紙の紹介 & なんさいの宝物

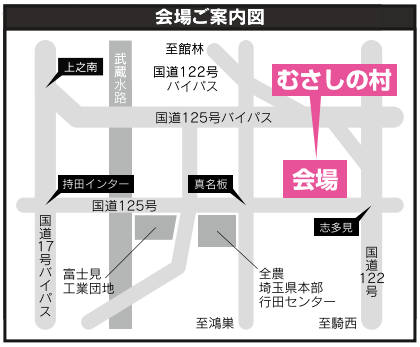
2019
1
vol.272

JAグループさいたま　アグリマシンフェアー
第58回
農業機械大展示会
2019 AM9:00～PM3:00
1/26(土)27(日)
会　場
むさしの村特設会場
埼玉県加須市志多見1700-1
0480-61-4126㈹

特典1
当日5万円以上のご契約の方に
記念品をプレゼント!
特典2
ご来場者様にもれなく
粗品進呈
(品切れの際はご容赦願います)

お問い合わせ
お近くのJA又はJA全農埼玉農機課
☎048-559-0315

出展内容
●水田、畑作、園芸用各種農業機械
●中古農業機械コーナー
●営農支援コーナー
●農作業安全コーナー
●肥料農薬コーナー
主　催
埼玉県内JA・埼玉県JA農機協議会
全国農業協同組合連合会埼玉県本部
協　賛
全農埼玉県本部取扱メーカー各社
埼玉県農業協同組合中央会
埼玉県信用農業協同組合連合会
全国共済農業協同組合連合会 埼玉県本部
埼玉県農業共済組合



★駐車場は限りがあるため、乗り合わせの上、ご来場下さい。

カメラニュース

TACパワーアップ埼玉県大会で受賞

11月1日、さいたま市浦和区のコルソホールで「平成30年度TACパワーアップ埼玉県大会」が開催され、県内JAの役員やTAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）、行政、担い手サポートセンターなどから約150名が参加しました。この大会ではTACの情報共有、優秀取組み事例の発表や表彰が行われ、JA部門ではJA南彩が2年連続でJA埼玉県中央会会長賞を受賞しました。

TACは、今後も担い手や地域農業のために邁進してまいります。

JAアグリホールくき「3周年記念感謝祭」開催

11月24日、JAアグリホールくきで「3周年記念感謝祭」が開催されました。これは、全農さいたまが主催となり、組合員や地域住民へのPR及び地域社会への貢献を目的に行われたものです。

当日は人形供養祭や葬祭セミナー、健康チェックなどが行われ、人形供養祭では持ち込まれた567体の人形やペットの写真を曹洞宗「正眼寺」住職に供養していただきました。セミナーでは、㈱むさしの村担当者が葬儀の一連の流れを説明し、来場者は葬儀について理解を深めました。

湯けむりセミナー開催

11月28日、29日の2日間、山形県かみのやま温泉「古窯」でJA南彩共済友の会「湯けむりセミナー」が開催されました。このセミナーは、共済友の会のイベントの一つとして毎年開催しており、今年は52名の会員が参加されました。

セミナーでは、三代目桂小南師匠による落語を楽しんだ後、プロが選ぶ旅館総合5位に選ばれている老舗旅館の夕食を頂きながら、豪華賞品が当たる抽選会やカラオケ大会を行い、会場は大変盛り上がりました。道中では、ワイナリー見学での芳醇なワインの試飲や上杉謙信ゆかりの上杉神社で「開運招福・諸願成就」の御利益や日本の歴史に触れ、ゆったりと散策を楽しみました。

参加者からは「今年のセミナーも大満足。また来年も参加したい」との声を多く頂けたセミナーとなりました。

学習・生活支援教室へ「彩のかがやき」を寄贈

12月4日、宮代町・杉戸町でモデル的に行われている学習・生活支援教室（ジュニア・アスポート事業）に参加する小学生に対し、米「彩のかがやき」30kgを寄贈し、本店会議室で贈呈式を行いました。

埼玉県では貧困の連鎖の解消を目的に、市町村・市町村社協・NPO等との協働により、困窮世帯の小学生向けの学習・生活支援教室（ジュニア・アスポート事業）を県内6市町でモデル的に設置しています。この教室では、学習支援だけでなく生活支援、体験活動、健康支援、食育等を行っています。この度、教室で子供たちに食べてもらう食材の提供について県から相談を受け、この事業の趣旨に賛同し、米を贈ることとなりました。

今後も地域貢献につながる取組みを行っていきたいと考えています。

自民党「米作りプロジェクト」収穫祭を開催

自民党「米作りプロジェクト」の一環として、6月に田植えをし、10月に稲刈りをした「彩のきずな」の収穫祭が11月15日に東京・永田町の自民党本部で開催され、JA南彩から中野組合長をはじめ、役職員が参加しました。10月に収穫した「彩のきずな」は自民党米として、自民党関係者へ約600袋（1袋450g）を無料配付。また、JA南彩特産の野菜詰合せ100セットや梨カレーセット、レッズカレーセットを販売し、大盛況に終わりました。

農業祭

秋の収穫を祝うイベントが各地区で開催され、多くの来場者で賑わいました。
生産者が丹精込めて作った野菜や果物、花卉などの品評会・即売会が行われたほか、様々な模擬店も出店し、イベントは大盛況となりました。

春日部市農業祭　11月23日㈷

蓮田市産業祭　農業まつり　11月23日㈷

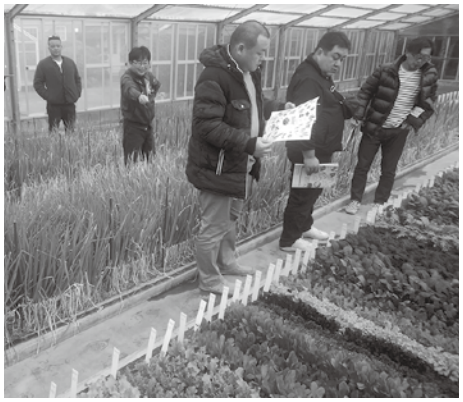
青年部活動報告

JA東京アグリパークで販売促進

関東１都８県が11月20日から11月23日の期間中、東京・新宿のJA東京アグリパークで特産品をPR販売しました。JA南彩青年部は11月22日に群馬県と茨城県と合同出店し、同青年部は栗・青パパイヤ・梨カレーご飯セットを販売、好評により完売しました。

福岡県へ視察研修開催

12月11日、12日の２日間、福岡県で青年部視察研修を行いました。研修先は部員それぞれ経営内容が異なることから２つのコースを設定。福岡県青年部委員長紹介の苺・梨栽培農家を視察、もう１つのコースは中原採種場㈱油山研究農場を視察しました。また、日本一の売上げを誇るJA糸島の直売所「伊都菜彩」を視察し、有意義なものとなりました。



むさしの村イベントに参加

12月16日、むさしの村で開催されたイベント「愛日燦々」に参加しました。これは、遊園地・音楽フェス・マーケットと大人と子供が一緒に楽しめるイベントで、発起人の久喜市菖蒲町にあるカフェ　クウワさんと青年部員との繋がりから出店。当日は梨サイダー、シクラメン、カラフル人参、もつ煮を販売しました。

『創造的自己改革への挑戦』

ＪＡ南彩中期３か年計画　平成30年度上半期の進捗状況について

ＪＡ南彩では、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に向けて多様化する地域と農業の実態をふまえ、創意工夫ある取組みを通して、創造的自己改革に挑戦しています。自己改革への取組みを着実に実行させるため、３か年計画の自己改革工程表を策定しました。３年目にあたる平成30年度の上半期が経過しましたので、進捗状況をご報告いたします。

１．「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦		ＪＡ南彩は、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、担い手経営体のニーズに応える個別対応やマーケットインに基づく生産・販売方式の転換を進めます。 平成30年度の販売品取扱高（青果物：野菜）を６％ＵＰ（27年度対比） 生産資材の総合的なコスト引下げへの取組み	
重点施策（目標）	**担当部署**	**平成30年度目標**	**平成30年度上半期での進捗状況**
① 担い手経営体への個別対応 （全戸定期訪問）	営農部	●ＴＡＣ１人あたり担い手120軒を中心に、定期訪問活動を実施 ●提案（エリア目標・個人目標を設定し、新規作物・低コスト生産技術栽培等の提案・実施）	●活動時間の効率化を図るためTACを営農経済センターへ配置 ●ＴＡＣ定例会で100軒以上の訪問活動の実施を確認 ●新規提案・実施 新規作物《南瓜（ほっとけ栗たん）、青パパイヤ、カラフル人参、加工業務用野菜》・低コスト生産技術栽培等の提案・実施
② 担い手経営体への労働力確保 （無料職業紹介所開設）	営農部	●JA南彩アグリサポート・JAグループさいたま求人広告サービス「第一次産業ネット」と併用して求人・求職者募集PR活動に取組む	●JAアグリサポート求人・求職者の募集を行うため、PR活動に取組む （平成30年９月30日現在　求人者　15件、求職者　５件、内２組がマッチング） ●第一次産業ネット求人広告掲載申込　５件
③ マーケットインに基づく販売事業方式への転換 （新規作物の提案） （米買取販売の拡大） （飼料用米取組み拡大）	営農部	（新規作物の提案） ●南瓜（ほっとけ栗たん）栽培 平成30年度作付　60ａ ●青パパイヤ栽培 平成30年度　苗1,240本 ●カラフル人参栽培 平成30年度目標　40ａ 栽培提案及び指導の実施	●南瓜（ほっとけ栗たん）栽培 平成30年度作付　60ａ ＴＡＣと生産者で現地検討会を開催し、生育状況を確認 直売所・アリオ鷲宮・モラージュ菖蒲・ヤオコー等で販促活動を実施 ●青パパイヤ栽培 平成30年度　苗1,500本作付 ＴＡＣが栽培生育調査を実施 ●カラフル人参栽培 平成30年度　40ａ栽培予定 ＴＡＣが種苗・肥料メーカーと圃場巡回指導の実施
		（新規作物の提案） ●加工業務用野菜契約栽培の提案 ●加工業務用野菜契約栽培目標 平成30年度面積　240ａ ●説明会の開催	●玉葱、ケール、白菜の契約栽培提案 ●加工業務用野菜栽培　平成30年度上半期作付合計190ａ （玉葱　125ａ、ケール　45ａ、白菜　20ａ） ●ケール栽培説明会 （平成30年７月20日　黒浜支店）

③ マーケットインに基づく販売事業方式への転換 （新規作物の提案） （米買取販売の拡大） （飼料用米取組み拡大）	営農部	（米買取販売の拡大） ●特別栽培米彩のかがやき生産者の会会員へ講習会開催 平成30年度　会員56名 作付3,679ａ予定 ●７月中間検討会開催 ●米買取販売 平成30年度　250ｔ ●直売所及び職員精米推進による販売数量拡大	●特別栽培米彩のかがやき生産者の会視察研修会開催（平成30年７月31日） ●米買取販売 下期に買取 ●米買取販売を行い、直売所や職員精米推進による販売数量拡大を行っていきます
		（飼料用米取組み拡大） ●経営所得安定対策制度への加入促進と水田フル活用による飼料用米等への取組み拡大 ●飼料用米等作付面積目標 430ha	●経営所得安定対策制度への加入促進と水田フル活用による飼料用米取組み拡大（作付196ha）
④ 消費者との信頼を築く食の安全確保対策の実践 （Ｓ-ＧＡＰ取組み）	営農部	●ＴＡＣを中心にＳ-ＧＡＰの提案に取組みます （提案目標　100名） ●18名以上の認証取得	●Ｓ-ＧＡＰの提案数　20名（進捗率　20％） ●認証取得　菖蒲管内２名（進捗率　11％）
⑤ 地域と担い手のニーズに応じた農地利用集積・集約化の取組み （地域営農ビジョン）	営農部	●地域のビジョンを作成し講師の指導を頂きながら再度打合せを行い、地域の意向や実態等を踏まえ取組みます	●地域のビジョンを作成し、９月に講師の指導を頂き、いなほの会会長（春日部管内）へ説明を行いました
⑥ ＴＡＣ（南部）は、ＪＡグループの県域応援企画及び県、市補助事業の情報を収集し、担い手に対し情報提供・提案活動の取組みを実施	営農部	●平成30年度目標 助成申請1,300万円	●農業振興支援事業新規就農者 （３件　120万円） ●ハウス（１件　50万円） ●認定農業者支援対策事業（６件　456万円） ●農業新技術等導入支援事業 （３件　110万円） 合計　736万円 補助金を有効に活用し、担い手の規模拡大につながるよう引き続き情報提供・申請支援に取組みます
⑦ ●低コスト生産技術等による生産コストの低減 ●鉄コーティング水稲直播、密苗栽培展示圃検討会を開催し普及の取組み	営農部	●平成30年度栽培予定 鉄コーティング　5.5ha 密苗　38.1ha 合計　43.6ha予定 栽培指導の取組み	●平成30年度栽培 鉄コーティング　5.5ha 密苗　73.6ha 合計　79.1ha ●収量調査を基に更なる普及推進により、トータルでの生産コスト低減に取組みます
⑧ 担い手の規模拡大・新規就農者の育成・農作業受託により遊休農地の削減 （ＪＡ出資型農業法人）	営農部	●ＪＡ出資型農業法人設立準備室の開設 ●平成30年９月設立に向けて取組む	●平成30年９月10日設立 ●平成30年９月13日開所式 ●作業受託開始 受託事業計画 （収穫作業　25ha、耕耘作業１ha、草刈作業２ha　合計28ha） （小麦栽培　２ha） （水稲栽培農地賃貸借契約目標　15ha）

⑨ ア．取引条件に応じた弾力的な価格設定	経済部	●茎葉除草剤大型規格キャンペーン（6月～9月） ●担い手直送規格農薬取組み（水稲除草剤50kg規格）100ha ●米用紙袋大口価格	●茎葉除草剤大型規格キャンペーン 取扱実績　527本 ●下期水稲農薬予約受注に向けた見込者選定並びに価格設定 ●米用紙袋大口価格設定 200枚以上△1.00円 400枚以上△1.50円
イ．ＰＫセーブ肥料やＰＢ肥料等の銘柄集約によるコスト引下げ	経済部	●堆肥等の未利用資源を活用した次世代肥料の提案 ●苺、梨、蔬菜等土壌診断の実施 ●銘柄集約によるスケールメリットを活かした仕入強化及び物流の効率化への取組み ●ＢＢ水口ポン太等による施肥技術の普及	●春肥注文書へ記載（平成30年11月実施予定）及び広報誌11月号へのチラシ折り込み予定 ●土壌診断結果に基づく施肥提案 （平成30年７月実施） ●秋肥申込書へ集約銘柄導入 （平成30年７月導入） ●水稲栽培講習会で提案実施 （平成30年11月実施予定）
⑩ 直売所間のネットワークの構築	経済部	●農産物直売所の生産者拡大 ●管内農産物を農産物直売所へ輸送品目拡大（目標　10品目） ●新規作物の提案	●継続的に生産者の募集を行っています 新規会員（岩槻直売所　７名、蓮田直売所３名、白岡直売所　１名、菖蒲グリーンセンター　９名） ●管内農産物を農産物直売所へ輸送実施 （週２回、８品目） ●ＴＡＣと連携し、南瓜（ほっとけ栗たん）等の提案を実施

2．「地域の活性化」への貢献

ＪＡ南彩は「くらしの活動」として、組合員や地域住民の様々なくらしのニーズに対応し、住みなれた地域での助け合いを軸とした地域セーフティネット機能をＪＡ総合事業の中で展開します。
ふれあい活動の取組み拡大（全支店実施）

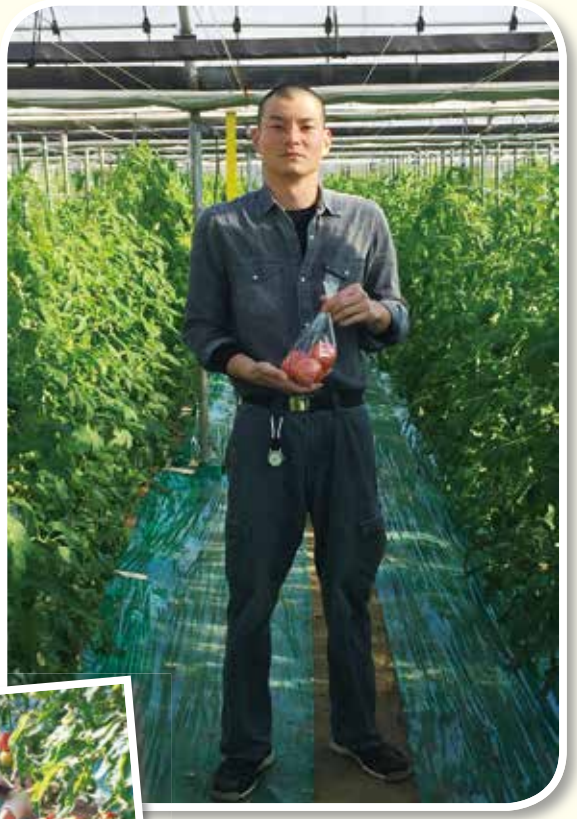
重点施策（目標）	担当部署	平成30年度目標	平成30年度上半期での進捗状況
① 組合員ふれあい活動の展開 （全支店実施）	企　画 管理部	●組合員ふれあい活動の実施	●全管内で20回実施（岩槻管内１回、春日部管内１回、蓮田管内３回、宮代管内１回、白岡管内４回、久喜管内３回、菖蒲管内７回）
② 認知症施策に対するＪＡの支援体制の構築 （全地区実施）	営農部	●認知症サポーター養成講座開催 Ｈ30年度　全支部実施 ●ミニデイサービスの実施 Ｈ30年度　全支部実施	●認知症サポーター養成講座開催（各支部） ６月21日、久喜支部 ８月21日、岩槻支部 ●ミニデイサービス実施 ６月21日、白岡支部　16名 ９月14日、久喜支部　23名
③ 広報機能の強化	企　画 管理部	●広報戦略の策定 ●ホームページの充実	●正組合員向けの広報誌「なんさい」 ４ページ増量（６月号） 准組合員向けの広報誌「にじいろ」 １回発行（７月下旬） ●ホームページの更新頻度回数の増加

3．ＪＡの事業伸長を支える信用事業と共済事業の取組み強化	農業者の所得増大、准組合員のＪＡ利用を通じた信用事業の深耕・拡大。「ＪＡバンク基本方針」のもと、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供、地域貢献に向けて取組みます。 各年度における個人貯金残高の増強。 保障点検訪問活動（３Ｑ訪問活動）の完全実施。		
重点施策（目標）	**担当部署**	**平成30年度目標**	**平成30年度上半期での進捗状況**
① ア．農業メインバンク機能強化	金融部	●平成30年度 農業資金新規貸出金額目標 170,000千円	●農業資金新規実行 113,860千円 計画対比67.0% JA農機ハウスローンダブルキャンペーン継続実施
イ．生活メインバンク機能強化	金融部	●貯金目標　282,000百万円 ●貸出金目標　55,100百万円 ●年金指定口座獲得目標 2,260件	●貯金　278,240百万円　計画対比98.6% 貸出金　54,879百万円　計画対比99.5% 年金　1,059件　計画対比46.9%
② 事務効率化・堅確性向上	金融部	●新型ATM切替による機能拡充 ●切替済みATMへの通帳繰越機能追加 ●統合店舗へのオープン出納機の導入	●ATM通帳繰越機能設定 （平成30年10月下旬に本店、蓮田支店、久喜江面支店、宮代支店、白岡大山支店、菖蒲支店の６店舗に追加設定予定） ●菖蒲南支店へのオープン出納機の導入 （平成30年5月14日導入）
③ 事務レベル向上等	監査室 金融部	●事務管理態勢充実強化のため、臨店指導や各種研修会を実施 臨店指導 事務管理態勢（金融課） 貸出金自己査定（融資課）	●内部統制向上に向けた支店現地確認を実施 (平成30年10月19日～11月29日　全21支店実施予定)
④ 担当世帯の全戸への保障点検訪問活動（３Ｑ訪問活動）の完全実施	事　業 推進部 共済部	●保障点検 基準世帯数目標（３か年累計） 23,370世帯に対し100%	●全職員による３Ｑ訪問を取組み、３Ｑ訪問活動世帯数実績は累計24,409世帯 ３Ｑ訪問活動世帯率は累計達成率104.4%
⑤ 「ひと・いえ・くるま」の総合保障の取組み強化	事　業 推進部 共済部	●世代単位でのきめ細やかな総合保障の提供保障点検実施 基準世帯数（あんしんチェック） 23,370世帯に対し40% 目標　9,349世帯	●３Ｑ訪問で収集した情報を基に、あんしんチェックを実施 平成30年度上半期で目標の9,349世帯に対して実績2,865世帯 保障点検実施率は、基準世帯数23,370世帯に対し、達成率12.2%
⑥ 地域特性を踏まえた保障提供の強化	事　業 推進部 共済部	●地域特性に合わせた推進計画を策定・実践	●支店毎に強み弱みを把握し、地域特性に合わせた商品を把握した中での推進

※この内容は平成30年9月末現在での取組みです。

彩農あり！

関根（せきね）　拓郎（たくろう）さん（春日部市内牧）



関根さんは26歳の時に親元就農し、ハウストマトを約27ａ、水稲を約250ａ生産しています。最初は慣れない作業ばかりでしたが、徐々に作物の生育状況や病気がわかるようになり、今では作業を任されるようになりました。冬場もトマトの出荷があるため、年間を通して大忙し。会社勤めの時とは違い、土日関係なく作物に応じて仕事をするため、決まった休みが取りにくいと拓郎さんは話します。

そんな拓郎さんですが、休みの日は趣味であるドライブを楽しみ、海などを見て疲れを癒しているそうです。

「お客様と直に接することが多いので、お客様の笑顔が見られるのが何より嬉しい。これからは良い品質を追求し、さらに収量を増やし、たくさんの人を笑顔にしたいですね」と意気込みを語ってくださいました。（山口通信員）

苺狩り情報

期間　**１月6日㈰～５月下旬**
（午前9:30 ～午後3:00）

料金	一　般（小学生以上）	こども（3歳～未就学児）
1月6日～ 3月31日	1,500円	1,100円
4月1日～ 5月10日	1,300円	1,000円
5月11日～閉園まで	1,100円	800円

3歳未満は無料です。

品種　とちおとめ、やよいひめ
個人の予約は不要です。
団体は要予約（25名様以上から1名様につき100円引き）

菖蒲グリーンセンター
☎0480－85－4444 AM9:00～PM6:00

苺の生育状況および天候不順により入場をお断りする場合がございます。

いきいきさん

細井（ほそい）　志津子（しづこ）さん（蓮田市閏戸）

JA南彩女性部　蓮田支部

左から3番目

細井さんは、10aの畑で季節ごとの野菜を栽培しており、種植えから収穫まで１人で作業しています。家族やその友達を集めて、自宅の畑で採れた野菜を料理し、みんなで食事をすることがとても楽しみだと話す志津子さん。女性部活動では、みんなで仲良く楽しく活動することをモットーにしており、12月1日に行ったふれあい活動の「こんにゃく作り体験」や感謝祭では、多くの方と出会い楽しく過ごすことができました。

そんな活動的な志津子さんですが、絵を描くことも好きで高校時代には美術部に在籍し、一時は絵画教室に通っていたこともあるそうです。

「家族や友達、女性部の方々と楽しい時間をたくさん過ごしたいと思っています。いつまでも元気でいるため、体操などして常に体を動かすことを心掛けています」とにこやかにお話してくださいました。

（鈴木通信員）

直売所情報　旬の情報をお届けします。

今月のオススメ！

あい活動

JA南彩は、各地区を拠点に組合員、職員、地域住民とのふれあい活動を通じて、地域農業と生活の向上に取組んでいます。

○蓮田支店

12月1日、管内の幼稚園・小学生の親子を対象とした「親子こんにゃく作り体験会」を農業者トレーニングセンターで開催しました。17組47名の親子、ふれあい活動委員、蓮田支部女性部員、JA職員も参加し、女性部員岡田コトさんが講師を務め、こんにゃく作りの一連の作業を行いました。体験した子供たちは芋からできていること知らず驚いた様子でしたが、真剣に作業に取組み、地域の方々とふれあう良い場となりました。

○黒浜支店

11月24日、黒浜運動公園で行われた「蓮田マラソン」に支店職員9名が参加し、コース立哨やスイーツ給水所の対応を行いました。当日は天候にも恵まれ約3000名が参加し、盛大に開催。記念品として、JA南彩は米「彩のかがやき」2kgを100個提供しました。ボランティア活動の参加により地域活性化のお手伝いができ、関係機関・地域の方々と交流を深めることができました。

○新和支店

11月30日、管内の新和小学校で行われた食育活動に地元生産者とJA職員が参加しました。全クラス（9クラス）を分担し、岩槻区内で生産されている農産物や農作業の話をしながら児童と一緒に給食を食べました。また、栄養士の先生がこの日の献立や使用した農産物のイラスト、地産地消の説明などカラフルな手書きのものを作成してくださり、多くの児童が興味深く目にしていました。

女性部活動報告

11月7日 蓮田支部

蓮田支店2階会議室を開き、19名が参加しました。クリスマス向けに飾り付けた装品として、フラワーアレンジメント、防災用のブレスレットを作りました。共に手先の細かい作業でしたが、楽しく行うことができました。

11月8日 菖蒲支部 小林地区・栢間地区

市内の農業者トレーニングセンターで料理講習会を開き、11名が参加しました。部員の野口あさ子さんが講師となり、部員みんなが協力して合計5品（ミニ肉まん・生春巻き・サムゲタン・里いもの照煮・塩レモンのケーキ）を作り、親交が深まりました。

11月19日 春日部支部 豊野地区

市内の赤沼新田集会所で料理教室を開き、15名が参加しました。岩槻支部新和地区の部員神田和子さんが講師となり、キムチ作りを行いました。女性部の桑原由枝部長も参加し、他支部との交流は刺激にもなり意義のあるものとなりました。

11月9日 春日部支部 豊春地区

旧豊春支店2階会議室で牛乳パックを使ったイス作りを行い、11名が参加しました。地区長を中心にしっかりとしてカラフルなイスができました。今後の活動についても話し合い、有意義な時間を過ごしました。

11月30日 菖蒲支部 菖蒲地区

市内の農業者トレーニングセンターでミニデイサービスを開催しました。菖蒲地区の70才以上の方を対象に参加を呼びかけ、24名の方に参加していただき、頭の体操や南京玉すだれの余興を楽しんでいただきました。参加者、部員14名、支店職員がふれあう良い場となりました。

11月9日 白岡支部

白岡大山支店2階会議室で手芸教室を開き、19名が参加しました。家の光に掲載されたアームバンド、ネックレス、コサージュを作り、和気あいあいと楽しく過ごしました。

12月6日 久喜支部

市内のふるさと農園久喜緑風館で料理講習会を開き、20名が参加しました。ほめられすしミルフィーユ風、糸寒天とピーマンのイタリアン和え、チキンナゲット、じゃがいものあったかサラダの4品を作り、新しい料理を学ぶことができました。

○川通支店

11月17日、管内の小学生を対象とした「リース作り教室」を同支店会議室で開催しました。児童14名と保護者、川通地区女性部員、支店職員合わせて23名が参加し、女性部員が講師となってリースの飾り付けなどを参加児童と行いました。世代を超えて地域の方々がふれあうことができました。

○三箇支店

11月18日、三箇支店で行われた菖蒲第18区自主防災訓練に支店職員5名が参加しました。消防署職員に指導をうけながら、地域住民50名の方と消火訓練や担架訓練、三角巾、AEDを行い、地域の方々と訓練作業を通じてコミュニケーションが図れました。

なんさい小町活動報告

11月15日 自民党米作りプロジェクト収穫祭/自民党本部

自民党米作りプロジェクト収穫祭に参加し、野菜の詰め合わせや梨カレーセット、レッズカレーセットを販売し、JA南彩の特産品をPRしました。

11月25日 JA東京中央収穫祭 東京都大田区

JA東京中央収穫祭に参加し、JA南彩の特産品（小松菜・山東な・ほうれん草・青パパイヤ）や梨カレー・レッズカレーなどの加工品を販売しました。青パパイヤとわかめの酢の物を試食提供し、PRしました。

11月28日 農畜産物商談会/ 大宮ソニックシティ

JAグループさいたま農畜産物商談会2018に参加し、スーパーや百貨店バイヤー、飲食店の方へ青パパイヤ（南彩パパイヤ）、カラフル人参（南ちゃん）、レッズカレーをPRしました。

11月26日 地産地消ブランド農産物を味わう集い／ パレスホテル

「地産地消ブランド農産物を味わう集い」に参加し、青パパイヤ、梨カレー、レッズカレーを販売しました。青パパイヤの浅漬けや青パパイヤのコンポートを試食提供し、PRしました。

12月1日 岩槻地場産野菜販促/岩槻区内量販店

岩槻地場産野菜のPR販売を行いました。小松菜の浅漬けを試食提供し、葉物類を中心に大々的にPRしました。

12月2日 JA東京中央感謝まつり/ 東京都大田区

JA東京中央農業感謝まつりに参加し、JA南彩の特産品（青パパイヤ・葉物・いちご・南彩そば・梨カレー・レッズカレー）を販売しました。

12月15日 JAいるま野直売所 「あぐれっしゅ元気村」

JAいるま野直売所「あぐれっしゅ元気村」で岩槻の花芯山東菜の販売促進を行いました。花芯山東菜の漬物を試食提供し、「白菜よりも軟らかくて美味しい」と好評でした。

TAC通信

毎月、TAC（担い手支援担当）の取組み状況などをご報告いたします。

営農部営農支援課TACアドバイザーの中込です。

毎月TAC通信をお読みいただき誠にありがとうございます。

JA南彩では現在８名のTACが北部・中部・南部エリアに分かれて担い手支援担当として組合員の皆様のお役に立てるよう日々努めております。すでにご存知の方々も多いと思われますが、まだまだTACについてよくわからないという組合員の皆様のために、ここにご紹介させていただきます。

集合写真

まず､皆様が目にする横文字「TAC」は「Team for Agricultural Coordination」の頭文字です。訳すと農業調整チーム、農業調整のためのチームとなります。平成20年4月に一般公募により「地域農業の担い手に出向くJA担当者」の愛称として決まり、単協・連合会が一体(チーム)となりすすめることとなりました。このTACという言葉になじんでいただくためにT(とことん)、A(会って)、C(コミュニケーション)というキャッチコピーも提唱しています。JA南彩にとっての「重点顧客」、すなわち、これからも地域農業を担っていく農業経営者、つまり「地域農業の担い手」に出向き、「担い手」の声・要望を収集しJAにつなぎます。そして、その結果をJAグループの事業に反映させJAグループの事業基盤の充実にむすびつけます。TACの役割は、⑴ 地域農業の担い手に訪問してご意見・ご要望をうかがい、誠実にお応えします。⑵ 地域農業の担い手の経営に役立つ各種情報をお届けします。⑶ 地域農業の担い手のご意見を持ち帰り、JAグループの業務改善につなげます。組合員の皆様とともに「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神でと考えております。今後、一人でも多くの組合員の皆様から「ありがとう」という言葉をかけていただけるよう努力することをお約束し、新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。本年もTACをよろしくお願い申し上げます。

JAグループさいたま
農業労働力確保対策事業のご案内

JAグループさいたまの新たな取組みとして、**国内有数の農業専門求人・広告サイト**の「第一次産業ネット」と提携し、担い手農家の農業労働力確保対策として**求人広告サービスを正組合員を対象として提供**いたします。
このサービスを活用し、正組合員のみなさんがより一層農業生産を充実させ埼玉県農業が発展していくことを目指しています。

ご利用費用
5,000円税込
2019／3／31まで使い放題!

活用例
- ◉アルバイト・パートの募集
- ◉正社員の募集
- ◉研修生・インターン生の募集
- ◉後継者の募集

活用方法は最寄のJAへご相談ください

第一次産業ネット　検索

お申し込み頂いた正組合員の求人が「第一次産業ネット」という農林水産業専門求人サイトに掲載されます。その後、正組合員の圃場等で働きたいという方から応募がありますので面接の上採用することができます。

【ご用意いただくもの】
①求人票（フォーマット記入）
②写真（デジタルカメラ・スマートフォンなどのデータ可、ネガ不可）

※本サービスは正組合員のみへの提供となっております。ご利用になる場合にはJAにて正組合員加入手続きをお願いいたします。
求人広告サービスのため、必ず人材を採用できることを保証するものではありません。

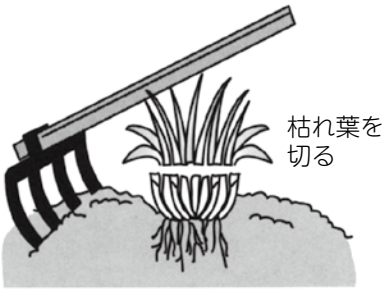
問合せ先・求人票入手先
JA南彩　営農部営農支援課　担当　小島
☎0480-87-1135　メールアドレスnansai016@nansai.st-ja.or.jp

板木技術士事務所 ● 板 木 利 隆

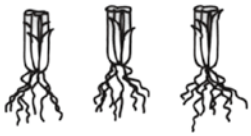
ニラは早めの株分けと更新

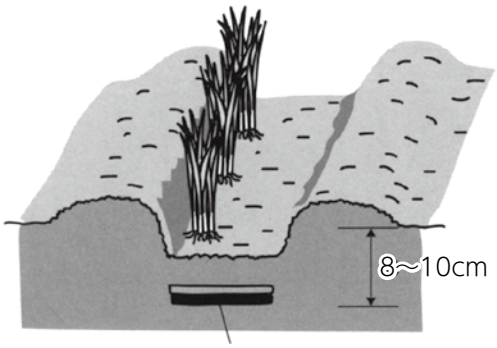
肉との料理の相性が良く、スタミナ料理などに親しまれるニラは、多年草で一度植えておけば、毎年、年に数回収穫できるので、家庭菜園に適した野菜といえましょう。しかし、いくら強いといっても2～3年取り続けると、株が密生気味となり、幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまいます。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが得策です。

株分けに一番良い時期は、葉が枯れ根株が休眠状態に入っている冬の間です。この頃は根に栄養が十分蓄えられているので、断根や株の分割という荒療治をしても、傷みが少なく、作業がしやすいからです。



力を入れて大きく掘り起こす


指先で2～3本ずつに分割する



株分けの方法は、まず地上に残っている枯れ葉を、5㎝ぐらいの高さで、鎌できれいに刈り取ります。そして株の周りにくわかスコップを大きく打ち込んで、根株を土から掘り起こします。根は強大で、密に広範に広がっているので、全てを一気に掘り取れないので、中途で縦に切断しても構いません。

掘り上げたら土を振るい落とし、指先に大きく力を入れて大割りし、さらに小割りして、図のように2～3本ずつに分割します。これを2～3個まとめて、20～25㎝の株間に植え付けます。

植え溝は事前に、8～10㎝ぐらいに深めに掘り、元肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料などを十分に施しておきます。植える際には、根株を束ねないで、平置きにするよう心掛けましょう。

溝は深めに掘って植えた根株を寒気や乾燥からも守ってやります。覆土は株の上部がやや出るくらいにとどめておき、やがて新葉が伸びだしてきたら、葉先を埋めないよう注意しながら、2回ほど覆土をして、溝が埋まるように管理します。

そうすると春には見違えるほどに、勢いの良い、良質なニラになります。

株が増えてきたら銀色のフィルムを畝上に二重掛けし、さらに黒色フィルムで覆い、黄ニラに育ててみるのも楽しみです。なお、販売用の高品質な物は、毎年種まきして育てた苗を植えて、年間随時販売する物で、通常古株は利用しません。

相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

地区	岩槻	春日部	蓮田	宮代	白岡	久喜	菖蒲
営農相談会 9:30～12:00	1月11日(金) 2月13日(水) 岩槻営農 経済センター	1月17日(木) 2月15日(金) 春日部営農 経済センター	1月25日(金) 2月25日(月) 蓮田営農 経済センター	1月16日(水) 2月14日(木) 宮代支店	1月28日(月) 2月27日(水) 白岡・宮代営農 経済センター	1月21日(月) 2月22日(金) 久喜営農 経済センター	1月30日(水) 2月28日(木) 菖蒲営農 経済センター
年金相談会 9:00～16:00	平成31年1月16日(水)　全管内一斉開催						
	岩槻城南支店 048(798)3345	春日部支店 048(736)5501	蓮田支店 048(768)2190	宮代支店 0480(32)0102	白岡大山支店 0480(92)2315	久喜江面支店 0480(21)1101	菖蒲支店 0480(85)0040
税務相談会	1月10日(木) 2月8日(金) 岩槻城南支店 9:30～12:00 048(798)3345	2月14日(木) 春日部支店 10:00～15:00 048(736)5501	1月18日(金) 2月15日(金) 蓮田支店 9:30～12:00 048(768)2190	1月9日(水) 2月14日(木) 宮代支店 9:30～12:00 0480(32)0102	1月9日(水) 2月14日(木) 白岡大山支店 13:30～15:30 0480(92)2315	1月24日(木) 2月25日(月) 久喜江面支店 9:30～12:00 0480(21)1101	1月24日(木) 2月25日(月) 菖蒲支店 13:30～15:30 0480(85)0040

※個別の税務相談会は事前予約制になりますので、開催日までにお電話でのご予約をお願いいたします。ご予約がない場合は開催中止となりますのでご注意ください。
※お申込みは、事前に各支店までご連絡をお願いいたします。
※都合により時間が変更になる場合があります。ご了承ください。

南彩インフォメーション information

★数独

出題　ニコリ

	3				1			
		9		2				1
		6	8			4		
	4		5					7
						□		
1					3		2	
		7			5	6		
2	□			1		5		
			4				3	

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

ルール

① 空いているマスに、１から９までの数字のどれかを入れます。

② タテ列（９列）、ヨコ列（９列）、太線で囲まれた３×３のブロック（それぞれ９マスあるブロックが９つ）のいずれにも１から９までの数字が１つずつ入ります。

応募方法

正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】１月末日

発表は３月号です。

62 〒346-0105
久喜市菖蒲町新堀473
JA南彩
広報係

●答
●郵便番号・住所・氏名・年齢
●JA南彩と本誌へのご意見・ご希望・短歌・イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させて頂きます。あらかじめご了承下さい。
※おひとり様１枚までのご応募とさせて頂きます。

11月号の答え

答え　15

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

4	2	9	7	3	8	1	5	6
1	3	8	2	5	6	7	4	9
6	7	5	1	4	9	3	2	8
9	8	1	4	6	7	5	3	2
2	6	3	5	8	1	9	⑦	4
5	4	7	3	9	2	6	8	1
3	5	2	9	1	4	8	6	7
7	9	6	8	2	3	4	1	5
⑧	1	4	6	7	5	2	9	3

11月号応募総数67通

【理事会だより】

平成30年11月27日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決・承認されました。

(1) 平成30年10月末財務状況について
(2) 平成30年度上半期ディスクロージャー誌の発行について
(3) 賃貸施設等事業資金特別貸出要領に基づく貸出限度額の変更について
(4) 高額融資案件の承認について
(5) 高額融資案件の条件変更について
(6) 高額融資案件の債務者変更（相続による債務引受）について
(7) 年末賞与の支給について

主要事業の概要

―― 平成30年11月末現在 ――

出資金につきましては、平成30年３月末　28億4,746万円です。

	平成30年11月末	平成30年3月末	前年度末増減
正組合員数	9,995人	10,004人	△ 9人
准組合員数	19,711人	19,310人	401人
組合員数合計	29,706人	29,314人	392人

	平成30年11月末	平成29年11月末	前年度同月対比
貯金高	2,782億5,459万円	2,728億0,610万円	101.9％
貸出金	546億5,565万円	534億5,924万円	102.2％
共済保有高	6,563億4,580万円	6,715億3,079万円	97.7％
販売高	22億9,196万円	23億4,551万円	97.7％
購買品Ⅰ供給高	15億6,983万円	17億6,119万円	89.1％
購買品Ⅱ供給高（各直売所・食堂）	9億7,114万円	10億0,514万円	96.6％

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

女性限定!!

第1回JA南彩 家の光購読者・女性の集い

参加費1,000円
（食事・記念品付）
バスご利用の場合、
別途1,500円
先着400名様
（事前予約制）

講師　山田雅人氏

〔日時〕 2月21日㈭
AM10:30～PM2:30

〔会場〕 むさしの村
（加須市志多見1700-1）

●ＪＡかとり女性部員による家の光記事活用体験発表
（全国家の光大会特別表彰受賞）

●健康セミナー「笑いと健康」講師　春風亭鹿の子

●記念講演「山田雅人かたりの世界」
講師　山田雅人氏
（ＴＢＳ渡る世間は鬼ばかりなど幅広く活躍。落語でも漫談でも一人芝居でもないマイク１本とスポットライト１つの話芸を披露します。）

◇JA南彩管内にお住まいの女性に限りご参加いただけます。
◇バスをご利用の場合、集合場所・時間等につきましては、改めてご案内申し上げます。
◇参加費として1,000円、さらに当日バスをご利用いただく場合は乗車代金として1,500円申し受けます。
◇前日及び当日キャンセルの場合、参加費1,000円については返金しかねますので予めご了承ください。
◇お申込みに際してご記入いただきました個人情報は、当JAにおける事業等のご案内及び業務の遂行上必要な事項以外には使用いたしません。
◇申込期限につきましては、平成31年2月7日㈭までとさせていただきます。（先着順にて定員締切り）

お申込み又はご不明な点は、お近くのＪＡ南彩各支店又は
本店営農部営農支援課 0480-87-1135までお気軽にお問合せ下さい。

お知らせ

番号案内サービス（104）へお問い合わせの際は、
必ずJA南彩の葬儀とおたずねください。
（24時間・365日対応）
事前相談も行っています。お問い合わせください。
0120－145－731

JA南彩葬祭岩槻城南支店 ☎048－797－4909
JA南彩葬祭白岡大山支店 ☎0480－91－0490
JA南彩葬祭春日部支店 ☎048－733－9099
JA南彩葬祭久喜江面支店 ☎0480－25－2929
JA南彩葬祭蓮田支店 ☎048－768－4445
JA南彩葬祭菖蒲支店 ☎0480－86－0400
JA南彩葬祭宮代支店 ☎0480－32－4966
JA南彩催事センター ☎0120－145－731

JAなんさい No. 272
平成31年１月１日発行

発行責任者／南彩農業協同組合
代表理事組合長　中野榮一
編　集／企画管理部総合企画課　〒346-0105
埼玉県久喜市菖蒲町新堀473
TEL 0480（85）7331　FAX 0480（85）7333

VEGETABLE OIL INK
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています